

## 弘前市内周辺部における小売業について

長谷川 典 子

### 1 はじめに

戦後の高度経済成長による大量生産・消費にこたえて登場したスーパーマーケットは、弘前市においても昭和33年11月に初めて出現した。価格の低廉化と消費者自身による商品選択を特徴とするスーパー方式は、順調に成長し店舗数も急増し、いまや小売業界においても相当な支配力を有するようになってきていると思われる。このスーパーでは最寄品の食料品、日用

雑貨品など日買物財を多く取り扱うため、これらを販売する周辺の零細規模の小売店では直接売り上げ高の減少という形で打撃を受けていると思われる。そこで、消費者の日買物財購買活動の実態を把握し、各商店街の特徴をとらえた上でスーパーの影響を述べてみる。

## 2. 調査対象地域

a. 茂森町商店街地区, b. 亀甲町商店街地区, c. 中野商店街地区, d. 松原商店街地区, e. 城東商店街地区。

a と b は人口増加地域と減少地域を背後にもつ地区で, c と d は人口拡散の顕著な南部に位置し, c は増加率が低く, d は増加率の低い地域から高い地域までを背後にもつ。また e は近年, 市当局が宅地化した新興住宅街で, ここ 5 年間の人口増加は著しい(図1)。これら 5 地区は以上述べた特徴の代表地域とし, また東西南北という位置関係から選定した。

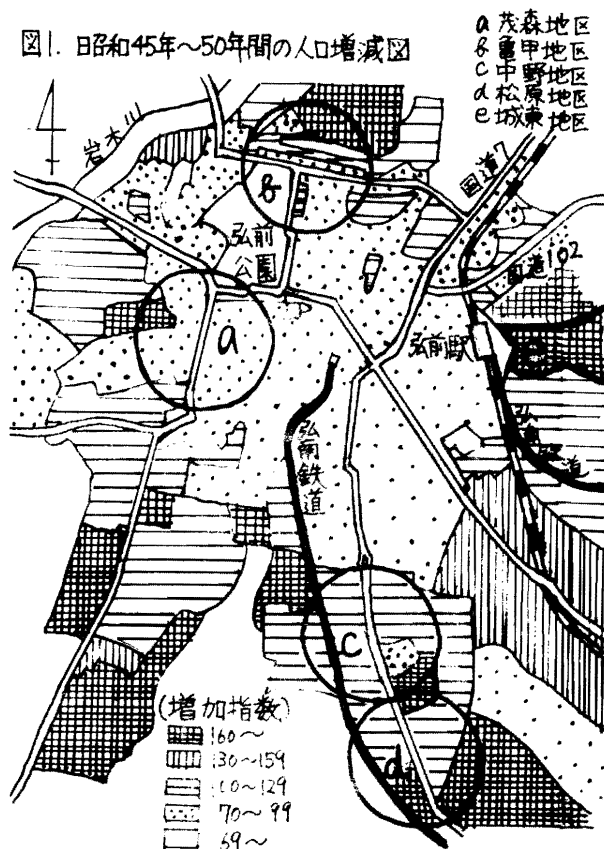
## 3. 各商店街の特徴と消費者の買物行動

### a. 茂森町商店街地区

この商店街は近くに寺院街をひかえ, 地理的には農村から市内への出入り口にあたり農家の顧客を相手に繁盛していた。そのため古い商店が多く, 新しい商店と混在しているといった様相を呈している。

ところで約 1,000 m の商店街に日買物財店 15 (うちスーパー 3), 月買物財店 15, 年買物財店 8 と計 35 店存在している。表 1 は野菜・くだもの・菓子・パン・食肉・洗剤の 4 品目について消費者の買物行動のアンケート調査を集計したものである。これを見るとこの商店街へ 60%, その中でもスーパーへは 85% 以上依存している。このスーパーの進出により, 10 年前に存在していた 2 軒の鮮魚店は閉店してしまった。この商店街への依存度が高いこと

図1. 昭和45年～50年間の人口増減図



は、第一次小売商圏が半径約700～1600mと広いことや、買物の交通手段が徒歩と自転車の割合が高く、到達時間も5分以内の割合が高いことから裏付けられる。以下、表1、図2、図3を合わせて見ていく。

表1 各商店街への依存度とスーパーへの依存度

| 単位 (%)         |            | a. 茂森地区     |                       | b. 亀甲地区     |                       | c. 中野地区                    |                       | d. 松原地区                    |                       | e. 城東地区     |                       |
|----------------|------------|-------------|-----------------------|-------------|-----------------------|----------------------------|-----------------------|----------------------------|-----------------------|-------------|-----------------------|
| 商店街名           | 利 用<br>頻度順 | 依<br>存<br>度 | うちスー<br>パーへの<br>依 存 度 | 依<br>存<br>度 | うちスー<br>パーへの<br>依 存 度 | 依<br>存<br>度                | うちスー<br>パーへの<br>依 存 度 | 依<br>存<br>度                | うちスー<br>パーへの<br>依 存 度 | 依<br>存<br>度 | うちスー<br>パーへの<br>依 存 度 |
| 地 元<br>商 店 街   | 1          | 61.9        | 87.1                  | 28.6        | 68.8                  | 44.9                       | 62.4                  | 83.3                       | 85.9                  | 81.3        | 85.1                  |
|                | 2          | 67.4        | 88.5                  | 11.2        | 63.6                  | 37.1                       | 55.1                  | 59.4                       | 71.5                  | 59.4        | 97.4                  |
|                | 3          | 63.0        | 83.8                  | 12.5        | 27.8                  | 29.1                       | 34.8                  | 49.5                       | 57.8                  | 31.3        | 40.0                  |
| ※ 近 隣<br>商 店 街 | 1          | 15.3        | 67.9                  | 37.2        | 87.0                  | 39.2                       | 98.9                  | 7.8                        | 97.1                  | 2.2         | 0                     |
|                | 2          | 18.1        | 78.6                  | 24.5        | 87.5                  | 31.3                       | 93.0                  | 15.3                       | 97.9                  | 4.7         | 0                     |
|                | 3          | 13.4        | 73.5                  | 16.7        | 62.5                  | 29.1                       | 97.1                  | 15.5                       | 100.0                 | 3.1         | 0                     |
| 土 手 町<br>商 店 街 | 1          | 7.1         | 87.2                  | 17.1        | 60.9                  | 1.8                        | 37.5                  | 1.1                        | 60.0                  | 3.3         | 100.0                 |
|                | 2          | 12.7        | 75.5                  | 29.6        | 69.0                  | 8.7                        | 78.1                  | 10.9                       | 76.5                  | 0           | 0                     |
|                | 3          | 21.7        | 74.5                  | 41.0        | 67.8                  | 11.0                       | 80.8                  | 13.6                       | 83.3                  | 3.1         | 100.0                 |
| 駅 前<br>商 店 街   | 1          | 0.9         | 80.0                  | 4.5         | 100.0                 | 1.3                        | 100.0                 | 4.7                        | 100.0                 | 12.1        | 90.9                  |
|                | 2          | 3.4         | 100.0                 | 7.1         | 100.0                 | 7.4                        | 100.0                 | 4.8                        | 100.0                 | 32.8        | 83.3                  |
|                | 3          | 7.5         | 100.0                 | 6.9         | 100.0                 | 10.5                       | 96.0                  | 11.4                       | 100.0                 | 62.5        | 95.0                  |
| ※ 近隣商店街名       |            | 本町商店街       |                       | 東長町商店街      |                       | 西弘前駅前商店街<br>桝型商店街<br>松原商店街 |                       | 西弘前駅前商店街<br>桝型商店街<br>中野商店街 |                       | 松ヶ枝商店街      |                       |

$$\text{依存度} = \frac{\alpha \text{商店街利用数}}{\text{総 数}} \times 100$$

#### b. 亀甲商店街地区

西浜通りの交通の要地として古くから商業が営まれていて、約1,160mの商店街に日買物財店10（うちスーパー1）、月買物財店3、年買物財店4の計17店存在しているが、この商店街への依存度は30%以下と低い。これに対し、東長町商店街への依存度は地元商店街より高く、しかもほとんど1スーパーに集中し、前者と後者を合わせて茂森地区ほどの依存度となり、東長町圏との混在地区とみなすことができる。このことは自転車の利用率の高さ、到達時間10分の割合の高さから、また第一次小売商圏（0%圏）が半径約760mと狭小なこと

図2

第一次小売商圏  
内の調査世帯によ  
る買物の交通手段  
と到達時間

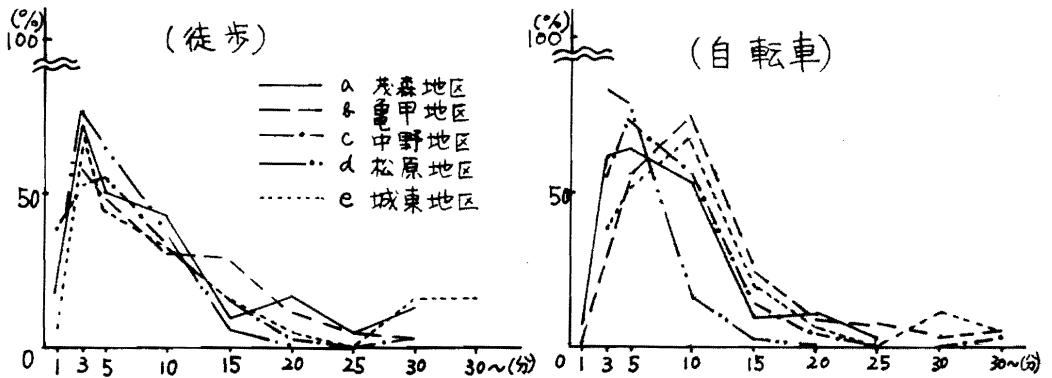
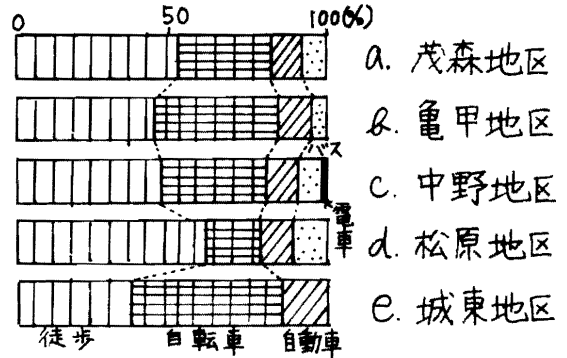
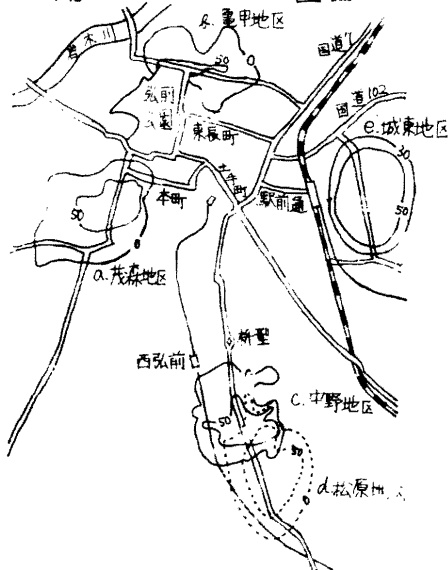


図3. 第一次小売商圏図



からもうかがえる。

c. 中野商店街地区

ここは戦後の宅地化により発達した地区で、約1800mの商店街に日買物財店15(うちスーパー1)、月買物財店10、年買物財店1の計26店存在する割に依存度は低く近隣の松原、弘南鉄道西弘前駅前付近、樹型の商店への依存度と同率くらいである。この原因は近隣3地区に魅力あるスーパーが存在するからだと考えられる。

このことは、自転車5~10分の

利用率が高いことや、第一次小売商圏半径約700～750mと狭くなっていることから理解される。

#### d. 松原商店街地区

この商店街はc地区の延長上にあるが、両者の区分は、商店集結が切断されていることから中野4丁目～松原西一丁目付近の坂とした。約1,200mの商店街に日買物財店14（うちスーパー2）、月買物財店3の計17店存在し、利用頻度1では80%の依存度を示し、うちスーパーへは85%以上も占める。また、徒歩5分以内の利用率への集中、第一次小売商圏の広さ（半径約900～1300m）からもこの商店街への依存の高さがうかがえる。ところで、2年前に1スーパーが進出したことにより別の1スーパーが閉店している。

#### e. 城東商店街地区

約1,600mの商店街に日買物財店4（うちスーパー2）、月買物財店1の計5店より存在しておらず、未発達でまだ商店街とは言えない状態にあるが、依存度は高くしかもスーパーへの依在が大部分を占め、消費者はスーパーでの買物で充足させていることがわかる。

データ不足により第一次小売商圏は30%圏までより出せなかったが、半径約550～1250mと広がっている。このことは、自転車の利用率が高く、しかも5～10分の割合が高いことからわかる。

#### 4. まとめ

商業は近代化し、消費者は自分自身の鋭敏な損得観念から価格変動に極めて敏感になってきており、昔の人情的買物ではなく店舗を選択する度合いが高まってきている。そして、気軽に買える、自由に買える、品物が安いという特徴をもっているスーパーを充足率の低い周辺の小売店よりも多く利用し、しかも小規模なものより魅力のある大規模なスーパーへ少し時間をかけてでも買物に出かけるという傾向にあり、今日スーパー同業者同志の興亡時代となっていると思われる。

表2 小売業年間販売額の変化

このスーパーの伸展は中小スーパーが含まれると思われる「その他の小売業」が年間販売額をかなり伸ばしていることからうかがえる（表2）。

当然のことながら、各商店街への依存度の高さが第一次小売商圏の範囲

| 業 種 分 類               | 年間販売額の増加率 |          |
|-----------------------|-----------|----------|
|                       | 47/45(年)  | 51/49(年) |
| 各 種 商 品 小 売 業         | 147.7(%)  | 224.2(%) |
| 織物・衣服・身のまわり品小売業       | 126.7     | 110.9    |
| 飲 食 料 品 小 売 業         | 112.7     | 147.3    |
| 飲 食 店                 | 141.6     | 164.2    |
| 自 動 車 ・ 自 転 車 小 売 業   | 105.2     | 148.9    |
| 家 具 ・ 建 具 ・ 什 器 小 売 業 | 133.2     | 144.3    |
| そ の 他 の 小 売 業         | 148.0     | 163.2    |

決定の重大因子と考えられる。その各商店街への依存度の多くを占めるのがスーパーである。つまり、スーパーへの指向、依存、そして魅力が第一次小売商圈を決定しているとも言える。それだけスーパーの果たす役割は大きくなってきていると言え、大規模なスーパーから中規模の段階にまで規制をひき下げるべきと思われる。

最後に、本論文の作成にあたり、御助言・御指導を下された横山先生、水野先生に深く感謝いたします。また資料提供の便宜を計って下された弘前市役所企画課、都市計画課の方々に対しても深く感謝いたします。

#### 参考文献

- 高阪 宏行（１９７２）：「消費者買物行動からみた埼玉県加須市商圈の内部構造について」  
地理学評論 45-11
- 桑島 勝雄（１９７３）：「仙台の居住地域の拡大と小売商業」 地理学評論 46-7
- 高阪 宏行（１９７６）：「消費者買物行動からみたシティー・レベル商圈の内部構造——  
一日買物財の買物行動とその商圈」 地理学評論 49-9
- 国松 久弥：「小売商業の立地」 古今書院
- 「弘前市における商工業の現状と将来」（昭和４３年）
- 「弘前市史（藩政編）」
- 「弘前市商工会議所名鑑」（大正１年，昭和１０年）
- 弘前市住宅地図（１９４７，１９７４，１９７６）
- 弘前市商業統計書（１９７２，１９７６）